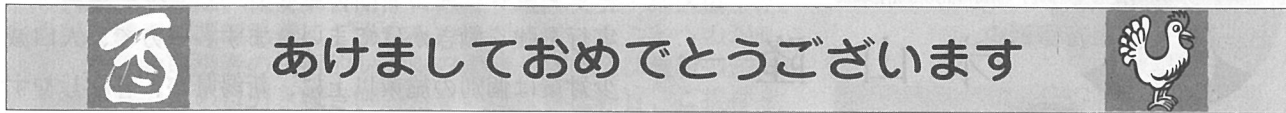




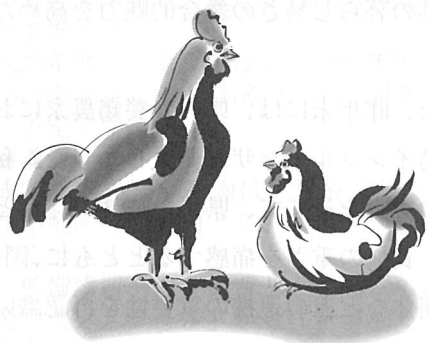
第198号

発行所 新潟市中央区新光町15-2
新潟県公社総合ビル内
公益財団法人 新潟県危険物安全協会
TEL 025-285-3490
発行者 理事長 中西一則
編集者 事務局長 山崎俊雄
印刷 (株)ハイングラフ



あけましておめでとうございます

迎春



昨年中は大変お世話になりました
本年もよろしくお願い申し上げます

平成29年 元旦

〒950-0965 新潟市中央区新光町15-2 県公社総合ビル内
公益財団法人 新潟県危険物安全協会

理事長 中西一則
副理事長 北原和夫
副理事長 渡部陽
専務理事 山崎俊雄

新年のごあいさつ



公益財団法人
新潟県危険物安全協会
理事長

中西一則

明けましておめでとうございます。

新潟県危険物安全協会会員事業所の皆さま並びにご家族のご多幸とご繁栄を心からお慶び申し上げます。

また、日頃より当協会の運営に対して多大なるご尽力とご協力を頂いていますことに厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、伊勢志摩サミットが開催され、新潟も農業大臣会議を開催しその一端を担いました。その際、アメリカ大統領は広島を訪問し、安倍首相はハワイを訪問するという、平和の大切さ

戦争の悲惨さを再認識する年となりました。

一方、地震が日本各地で起こり、集中豪雨が収穫前の農作物に被害を与え、自然災害の恐ろしさを再度実感させられた年でもありました。

さて、県内で起きた危険物関連事故件数の推移を見てみますと、過去10年（平成18年～27年）の平均は約40件ですが、近年は、平成25年28件／平成26年32件／平成27年30件／平成28年31件（11月現在）と約10件少なく推移し、喜ばしい状況が続いています。しかし、事故の約3分の2が流出事故であり、類似事故の予防策として、当会員の皆さまにおかれましては、事故情報の共有化、保安教育の実施、徹底した設備監視、適正な補修等に取り組んで頂き、更に、事故件数削減に向け努めて頂きます様お願い致します。

最後になりますが、本年も皆さまのますますのご健勝とご発展をお祈りするとともに、当協会に対する変わらぬご支援、ご鞭撻をお願いして、新年のご挨拶といたします。

《 当協会のホームページで講習の受付状況等について速やかにお知らせしています。 》
お申し込みの参考にしてください。

新春知事ごあいさつ



新潟県知事

米山 隆一

平成29年の年頭に当たり、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

公益財団法人新潟県危険物安全協会並びに各地区支会・地区協会の会員の皆様には、日ごろから危険物の保安の確保にご尽力いただき、改めて感謝を申し上げます。

昨年10月、県民の皆様の御信託を得て、新潟県知事に就任いたしました。知事就任後、初めての新年を迎え、「命と暮らしを守り、現在と未来への責任を果たす」県政を実現していく決意を新たにしております。

私は、政治の目的は、一人一人の幸福を可能な限り増やし、一人一人の不幸を可能な限り減らしていくことであると考えております。今までの政治の中で、ややもすると取り残されてきた一人一人の想いを丁寧に受け止めて、幸福の源である命と暮らしが守られると同時に、新潟県の、現在とそして未来への責任を果たす県政を実現したいと思っております。私達は、先人たちから受け継いだこの美しい県土と、人と人との暖かい絆を保ち、未来に引き継いでいく責任があります。私は、新潟県知事として、現在の新潟県の諸課題に真摯に対応しつつ、将来の発展に向けた方向性を示し、県内の多くの力を結集して新潟県の新たな未来を切り開き、次世代の子供たちに引き継いでいきたいと思っております。

さて、現在、本県を含め多くの地方に共通の大きな課題が、地方の再生と、人口減少問題への対応です。本県の人口は今まさに減少を続けており、長年続いてきた進学や就職を契機とした社会流出が、出生数の減少にもつながるといった連鎖の構造が生じつ

つあります。私は、この連鎖を止め、人口減に歯止めをかけて増勢に転ずるために、新潟県として出生数の増加や人口の流入促進・流出抑制に有効な施策をできる限り講じると同時に、国にも必要な施策の実行を強く働きかけてまいります。一方で、人口減少対策は個別の施策以上に、新潟県が、暮らしやすく、子育てしやすく、学びやすく、働きやすい、総合的に魅力ある地であることこそが重要であると考えています。そのため、福祉・医療、教育、産業・雇用など県政のあらゆる分野での取組を総動員して新潟県の暮らし易さの総合的魅力を高めたいと思っております。

また、昨年末には、県内の養鶏農家において高病原性鳥インフルエンザが発生しました。私はこの事案への対応を通じて、県民の皆様の「命と暮らしを守る」責任の重さを痛感するとともに、国や市町村、関係団体などとの連携の重要性を再認識いたしました。

危険物に係る事故件数は、全国的にみて依然として高い状態であり、本県においても昨年は大きな事故は無かったものの、多くの事故が発生しました。県では、「命と暮らしを守る」観点から、貴協会と共に「危険物実務研修会」を開催するなど、事故の再発防止に努めているところです。

貴協会会員の皆様におかれましても、これまでも増して危険物施設の保安管理の充実・強化に努められ、事故の未然防止を徹底されますよう更なるご尽力をお願いする次第です。

今後も、県政の様々な課題の一つ一つに対し、真摯に、丁寧に全力で取り組み、県民の皆様と、新潟県に対する、現在と、そして未来への責任を果たしてまいります。

結びに公益財団法人新潟県危険物安全協会並びに各地区支会・地区協会の会員の皆様の益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。

第30回新潟県保安大会開催（保安功労者等の知事表彰）

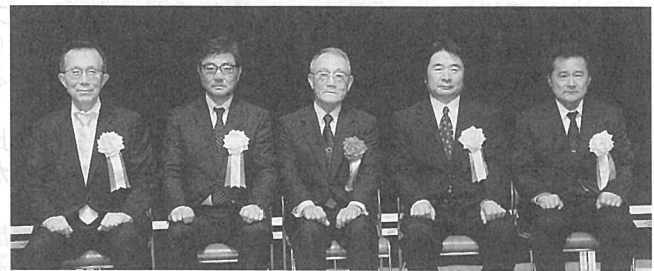
新潟県と新潟県保安関係団体協議会（構成6団体）の共催により、平成28年10月28日（金）に、第30回新潟県保安大会が新潟県知事（代理：北窓隆子副知事）出席のもと、県議会議長、県警察本部長、県消防長会会長（新潟市消防局長）を来賓に迎え、大会関係者約150人が参加して、県庁講堂で開催されました。

「大会宣言」を採択した後、表彰式が行なわれ、当協会からは、新津石油株式会社（代表取締役社長石黒義久 新潟地区支会）が優良事業所として、権瓶剛氏（株式会社小松屋商会代表取締役 五泉東蒲原地区支会）が保安功労者として、清田克彦氏（株式会社和田エネルギー所属 五泉東蒲原地区支会）、佐藤智氏（株式会社ハセガワ所属 魚沼地区支会）が優良従事者として、それぞれ新潟県知事表彰の栄誉に輝きました。

栄えある表彰は、受賞されました方々の災害防止に対する不断の努力の賜物であり心からお慶び申し上げます。今後とも危険物災害の防止に御尽力をいただきますようお願い申し上げます。



北窓隆子副知事を囲んでの記念撮影



左から石黒義久氏、権瓶剛氏、
渡部陽副理事長、清田克彦氏、佐藤智氏

表彰式終了後、「関節リウマチのマネジメント」という演題で、新潟県立リウマチセンター 名誉院長 村澤章さんの記念講演がありました。

関節リウマチは①日本人の70～100万人がかかり、罹患率は他の病気と比べて高く、男女比は1：4である。②最近の良い薬ができ、治らないがコントロールできるようになってきた。③治療には薬、手術、リハビリ、ケアのトータルマネジメントが必要であり、そのやり方は患者と良く話し合うことが大切である。④患者の自己管理として合併症予防対策等の基礎知識やホームエクササイズ（関節をいすぎない、歩くこと etc.）が必要であることなどを説明されました。

リウマチ患者にとって必要な災害時のマネジメントとしては①必要項目（避難所、連絡方法、薬、通院 etc.）を把握。②平常時に災害時に備えたシステムを作り、ネットワーク化。③訓練を行っておくことが必要とのことでした。この考え方は危険物の取扱にも通ずるものがあると思われます。

賛助会員のご紹介 ～賛助会員募集中～

当協会は、公益法人として、危険物に起因する災害の防止を図るため、危険物取扱者の資質向上を促進し、もって、社会公共の安全に寄与する取組を推進しております。この目的のためには安定した経営基盤の確立が必要であり、年間を通じて賛助会員の募集を行っております。

賛助会費は税制上の優遇措置が受けられますので、当協会の活動に御理解をいただきまして、御支援を賜りたくお願い申し上げます。申込方法等はホームページをご覧ください。

賛助会員として入会されました皆様をご紹介します。当協会の公益事業に御理解をいただき、心から感謝申し上げます。

法人会員は次の3社（五十音順、敬称略）で、個人会員は県庁防災局消防課有志他です。

| | | |
|---|---|--|
| <p>有限会社エステック</p> <p>代表取締役 五十嵐 昇 〒950-2023 新潟市西区小針1502番地3 電話：025-230-7007 Fax：025-230-7009 地下タンク等定期点検認定事業者、移動貯蔵タンク定期点検認定事業者</p> | <p>有限会社オイルメンテナンス新潟</p> <p>代表取締役 野上 了 〒950-0063 新潟市東区上王瀬町1番50号 電話：025-279-0050 Fax：025-279-0051 地下タンク等定期点検認定事業者 http://e-abura.jp/</p> | <p>株式会社 羽生田</p> <p>代表取締役 原山 文男 〒948-0036 十日町市川治2116番地1 電話：025-757-8511 Fax：025-752-4855 地下タンク等定期点検認定事業者</p> |
|---|---|--|

危険物実務研修会を新潟、上越の2会場で開催

当協会が新潟県危険物事故防止連絡会と共催している危険物実務研修会を、11月29日(火)に新潟市「新潟県自治会館」、11月30日(水)に上越市「上越市市民プラザ」で開催いたしました。

開会にあたり、県防災局消防課梅津課長補佐（新潟会場）、上越地域消防事務組合消防本部小池予防課長（上越会場）からご挨拶をいただいた後、消防課予防係の渋谷専門員、危険物保安技術協会事故防止調査研修センターの山田総括調査役から御講演をいただきました。いずれも大変有意義な内容でしたが、特に山田氏からは、永年危険物事故の調査研究に携わってこられた経験を基に、新潟県で特に発生率が高い「疲労腐食等劣化」や、給油取扱所における事故に焦点をあてて講義していただきました。両会場合わせて221名の受講者は熱心に受講されており、いただいた貴重な教訓と情報を得て、今後の事故の未然防止に役立てていくものと思います。

両氏の講演の主な内容は、以下のとおりです。

1 渋谷辰雄氏 「県内の危険物事故の概要について」

当県では危険物施設数は減少（10年間で約2割減）している。一方、事故件数は年40件程度で推移していたが、平成25年からの3年間は30件程度に減少している。今後とも安全のための取り組みを続けていただきたい。

新潟県では「腐食疲労等劣化」による事故が全国に比べ非常に多いが、過去5年間の統計を見ると、30年を経過すると配管等からの流出事故が非常に多いことがわかる。先手を打った詳細な点検、更新が望まれる。この1年間に次のような特徴的な事故が発生した。

- ・ 荷卸し時（ポンプ圧送）にサービスタンクから流出した事故
点検事業者が、地下タンクの漏れ点検をする際に通気管に装着していたゴムプラグを点検終了後に外し忘れた。施設の危険物取扱者が立ち会って、点検結果や施設の復旧状況を確認する必要がある。
- ・ ミニローラーが軽油を流出させながら走行した事故
積込担当者が注入口（マンホール）を閉め忘れ、更に配達担当者が移送前点検を実施しなかった。調査の結果多くの法令違反もあり、基本的なことを確実に実行する会社の態勢を確立する必要がある。
- ・ 設置後15年の埋設配管から流出した事故
設置時の埋め戻しに碎石混じりの土を使用したため、碎石が防食テープを傷つけ腐食が局部的に進んだ。事業所は適宜施工状況の確認を行い、不適切な施工が行われないよう管理することが必要である。

2 山田實氏 「危険物施設の事故事例と安全対策について」

施設の老朽化は確実に進行する。

流出事故が特に埋設部で発生した場合、広範囲な土壌の浄化作業などが必要となり、極めて大きな損害が発生してしまう。このような事故を未然に防ぐには、法定事項を始め社内基準にも合致させた維持管理を行い、「検査」「評価」「補修」のサイクルを確実に廻していく必要がある。また、施設の状態を把握してリスクを正しく評価して総合的に判断し、必要に応じて詳細な検査を実施するため、限られた資源を有効に使う戦略的な維持管理を行っていく事が求められる。

給油取扱所の事故については、フル給油所と比べるとセルフ給油所の火災危険性は極めて高く、4.2倍にもなる。着火源は静電気によるものが多く、また子供に給油させるなど非常識な行為も見られ、やはり「確実な監視」が不可欠である。

また、火災事故事例の調査研究結果によれば、「清掃の不備による堆積物への着火」のような基本を疎かにした事例が多いことが浮き彫りになった。維持管理以前の基本的な管理の徹底も求められる。

講義にあたっては動画も多数使用され、また、屋外タンク・地下タンクの事故事例と事故防止対策、配管の腐食のメカニズムについても解りやすく解説されました。



梅津 了 氏



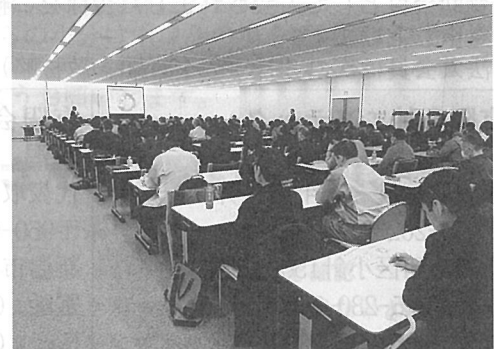
小池 一彦 氏



講師 渋谷 辰雄 氏



講師 山田 實 氏



研修会場全景（新潟会場）

給油取扱所の事故を無くそう！ PART 3

～給油ノズルの取扱、保守管理ミスによる事故を防ごう！～

新潟県防災局消防課

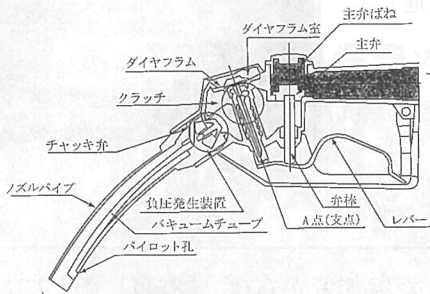
平成27年4月1日、平成28年1月1日発行の協会だよりで、給油取扱所での事故防止対策を紹介してきました。今回は、給油（注油）ノズルのオートストップ機能が作動しなかったことによる事故の防止対策を考えます。

県内ではこの原因による事故が6件（過去5年間）も発生しており、典型的な例は「ミニローリーに注油中にその場を離れ、戻って見たら溢れていた」というものです。

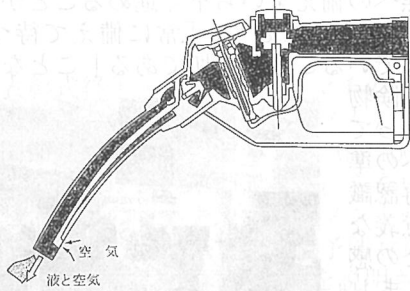
作動原理や保守管理、使用上の注意点を理解し、事故を未然に防ぎましょう。

1 作動原理

(1) 給油（注油）前の状態及び各部の名称

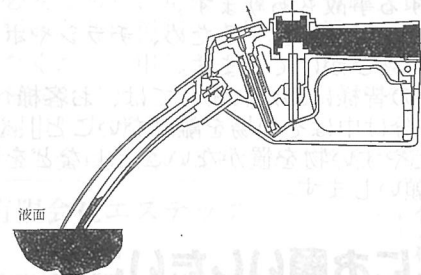


(2) 給油（注油）時の状況



- ア レバーを引き上げるとクラッチがロックされていることから、A点を支点として弁棒を押し上げて主弁が開く。
- イ 液は主弁を通過しチャッキ弁を押して流出される。
- ウ この時、負圧発生装置でベンチュリー効果により負圧が発生するが、パイロット孔より空気が補給されるため、ダイアフラム室への負圧は高くならない。

(3) オートストップ機構作動後の状況



- ア 液面が上昇しパイロット孔を塞ぐと、空気の補給がなくなり負圧は急激に高まる。
- イ ダイアフラム室のダイアフラムは負圧によって上方へ移動しクラッチのロックが解除されレバーは支点を失う。
- ウ 主弁のバネの力により主弁が閉じ、液の流れは止まる。
- エ レバーを元の位置に戻すと、給油前の状態に戻り、次の給油に備える。

2 ノズルの保守管理

(1) しっかり点検しましょう

- ア ノズルパイプ先端部が変形している。
→ 内径が14mm以下につぶれたり、摩耗、バリが発生していると作動しにくくなります。すぐに交換する必要があります。
- イ パイロット孔が1mm以下につぶれている。
→ 作動が不安定となります。すぐに交換する必要があります。

(2) 不作動を放置しない

弁部分にごみが付着すると作動が不安定となります。作動しない事があったら使用を止め、機器納入業者に相談しましょう。

(3) 定期的に変換しましょう

長期間使用するとダイアフラム等が劣化して円滑に作動しなくなります。メーカーが推奨する交換期間を参考として、早めに更新しましょう。

3 使用上の注意点

(1) 油温が高くなってしまいう時

油温が高くなると気化しやすくなり、ノズル内でのベンチュリー効果が小さくなって作動しないことがあります。

夏季間の他、特にキャノピー上に配管がある懸垂式固定給油設備は直射日光で加熱されるので注意が必要です。

(2) 小流量で使用する時

継ぎ足し給油や容量が小さいバイクなどへ給油する際、小流量で給油しますのでノズル内でのベンチュリー効果が小さくなり、作動しにくくなりますので注意が必要です。

(3) ノズルを給油口の奥まで差し込む

ノズル先端のパイロット孔が油で塞がることで作動するので、給油口からの吹きこぼれを防止するためノズルを奥まで差し込む必要があります。

(4) 移動貯蔵タンクに注油するとき

ノズル先端に必ず注入管を取り付け、先端はタンク底部に着ける必要があります。これは、静電気対策であるとともにノズルを安定させるためにも必須の事項です。また、やむを得ず注油中にその場を離れる時は、必ず一旦注油を中断することが重要です。

4 おわりに

ノズルのオートストップ機能は大変便利ですが、作動しないこともあるということを念頭において給油、注油する必要があります。

いうまでもなくガソリンは特に引火しやすいので極めて危険ですし、また給油時の溢れはお客様のお車の塗装を傷める場合もありますので十分注意してください。

(1の作動原理は、「危険物施設の審査基準」(公財)東京防災救急協会発行から転載いたしました。)

新潟地区支会 危険物事故防止研修会を開催

平成28年11月25日(金)に新潟市消防局との共催により、「危険物事故防止研修会」を開催しました。

この研修会は、具体的な事故情報を共有し再発防止を図ることを目的に、事故事例の発表と外部講師による研修の2部構成で実施し、実際に事故を経験した会員事業所からの事故事例発表により事故情報を共有するとともに、一般財団法人全国危険物安全協会企業防災対策室審議役の越谷成一氏から「危険物施設等の危険要因」について講演をいただきました。

危険物施設ごとの事故事例と対策を学んで、保有する危険物施設の危険性要因を的確に把握し、これに対するハード、ソフト両面の対策を講じて、危険性要因を排除して安全側にもっていくことが重要で

あると再認識させられ、とても参考になりました。

今回の研修会により、参加した会員事業所の皆様は、安全の確保や保安管理など、防火安全対策について、認識を新たにされたことと思います。

事故事例の情報共有は、安全対策そして事故防止対策に大変効果的であることから、今後も研修会等を通じ、危険物施設の事故防止に繋がる情報を提供し、事故防止対策を推進していきます。



加茂地区支会 研修視察を実施

加茂地区支会では、火災や危険物事故に対する危機管理意識の高揚を目的として、加茂市・田上町防火管理協会との共催で2年に一度研修視察を行っています。

昨年度に開催し、平成27年10月22日に三条市水防学習館、航空自衛隊新潟分屯基地の研修視察を行いました。

水防学習館では、水害降雨再現シアターで水没時のドアへの水圧体験や音と映像による水害の怖さを体感し、航空自衛隊では普段見ることのできない救助資機材などの装備や施設を見学させていただきました。また、両施設の担当者から災害、事故に対する厳しい姿勢を聞くことができました。

視察を終えた参加者からは、「有事に際しては、日頃からの準備と確認が重要で、発災後に想定されるあらゆる事態への備えをいち早く進めることが被害の拡大抑止となる」ことや、「常に備えて待つ、先手必勝の姿勢でいることが大切である」ことなどをお聞きし、危険物を扱う会員にとっていざという時への準備の大切さを再認識させられる有意義な視察であったとの感想をいただきました。



「灯油の流出事故防止」と「ストーブの適正使用」に御協力をお願いします！

県からのお願い

ストーブ等暖房器具の使用機会が増える冬季は、毎年、河川などへの灯油の流出事故や火災が多発します。

「油流出事故」は毎年200件以上発生しており、事業場に設置されている貯油タンクやその配管の破損、油水分離器の管理不徹底などを原因とする事故もあります。

県ではこれらの事故、火災を防止するため、チラシやポスター等により事故防止を呼びかけています。

地区支会・地区協会の皆様におかれましては、お客様へ、「ホームタンクからの小分け中はその場を離れないこと」や、「ストーブの周りに燃えやすい物を置かないこと」などを周知して下さるようお願いいたします。

油断大敵

ホームタンクからの小分け中
2分間注ぎ口を見守って
その後はしっかりバルブを閉めましょう

油を漏らしてしまったら、元栓を閉め、流れないように応急処置し最寄りの消防署、市町村役場や県の地域機関に通報しましょう。

火の用心!! ストーブなど火の取扱いにも注意しましょう。

新潟県



皆さんにお願いしたいこと

- ①ホームタンクからの小分け中はその場を離れない
- ②給油後はバルブをしっかり閉めたことを確認
- ③降雪前にホームタンクからの配管に異常がないか点検
- ④積雪でホームタンクや配管を傷めないよう注意
- ⑤油が流出したら、元栓を閉め、流れないように応急処置
- ⑥ストーブへの給油は、火を消してから
- ⑦ストーブの周りに燃えやすいものを置かない



平成28年度第2回地区支会事務局会議開催

平成28年12月5日(月)に、新潟市新光町「トラック総合会館」において、県防災局消防課西潟良成副参事、渋谷辰雄専門員のご参加をいただいて開催しました。

会議の冒頭、中西一則理事長が、今日の会議は今年度の協会業務の実施状況及び来年度の事業計画等の説明となっているので忌憚のないご意見をいただき、協会と地区支会・地区協会の意思疎通を図っていきたい旨、挨拶いたしました。

西潟氏からは、保安講習開催にあたり地区支会・地区協会から保安講習の講師派遣にご協力をいただいていることへのお礼と、危険物取扱者の技術的レベルの維持・向上及び最新の法令知識習得のために引き続き御協力をいただきたい旨、ご挨拶をいただきました。

会議では、平成28年度の協会業務が地区支会・地区協会のご協力もあり順調に進んでいることを報告すると共に、受験準備講習、保安講習の平成29年度の実施方針、協会役員の改選及び各種表彰事業の留意点等について説明しました。

事務局で用意した議題につきましては、了承されましたので、来年度の事業計画としてまとめ、理事会の承認を得て参ります。

○ 受験準備講習

平成29年度の開催計画は、平成28年度と同等とし、開催回数は15回を維持し、1日講習、土日開催、夏休み中開催も継続する予定です。

○ 保安講習

平成29年度の開催計画は、平成28年度と日程、会場とも、概ね今年度同様の計画とし、3年周期開催の地区も従来どおりとする予定です。

なお、準備講習、保安講習とも会場側の都合から新潟の会場を「新潟テクノスクール」から「新潟テルサ」に変更することとしました。



中西理事長



西潟副参事



会場全景

平成28年度 企業・専任講師会議を開催

平成28年12月8日(木)に、当協会の企業・専任講師会議を開催し、平成28年度の受験準備講習、保安講習の実施状況、平成29年度の講習計画等について説明し、講義方法等について検討を行いました。

受験準備講習については、事務局からアンケート調査結果について説明を行いました。設問の中で最も重要である「受験勉強の参考となるよい講習会だった」かどうかに対しては、93%の方からよかったという評価をいただきました。

事務局では、講師に対して試験の重点項目を示すとともに、プレゼンテーションソフトを使用した視覚資料も利用していただいております。受講者にとって解りやすい講習会になっているものと思われます。

一方、一部の受講者から「進捗が早い」「要点を絞った説明を」などの意見も寄せられていますので、今後とも講義方法を工夫し、受講者に受験勉強に対する自信を持たせて、合格率アップに繋げていくこととしました。

受験準備講習会に参加しませんか!!

～お申し込みは便利なインターネット受付で～

危険物取扱者乙種第四類試験受験準備講習会は、3月4日にある試験に向けて1月に3会場で開催いたしますので、奮ってご参加ください。(詳細はP8参照)

講習内容については、上記の「平成28年度 企業・専任講師会議を開催」にあるとおり、多くの受講者から好評をいただいております。また、昨年度からインターネットでの受付も行っておりますので、ご利用ください。

来年度も、今年度とほぼ同じ計画で開催しますが、来年度当初の開催予定を8ページにお示しましたので参考としてください。

今後とも、受講生の要望である「試験対策に徹した講習」となるよう、出題傾向を念頭に置いたメリハリのある講習としていきます。

講習会への参加、資格の取得は従業員のスキルアップにもなりますので、是非受講をご検討ください。

合格への近道 受験準備講習会のお知らせ

乙種第四類の受験者を対象とした受験準備講習会は、今年度は下記の3回となりました。是非参加されまして合格を目指してください。

講習内容は、より試験対策に徹した、要点を絞った内容としており、多くの方々からご好評をいただいております。

「受講案内」や「危険物取扱者受験準備講習受講

申込書」は、最寄りの消防本部・消防署、各地区支会・地区協会事務局、当協会に用意してあります。受講案内は当協会のホームページでもご覧いただけますし、インターネットでも申し込むことができます。

詳しくは、当協会又は最寄りの各地区支会・地区協会事務局へお問い合わせ下さい。

平成28年度最終の乙種第四類受験準備講習会日程

| 講習日 | 講習会場 | 定員 | 申込受付期間 | 講習会場所在地 |
|-----------------|------------|-----|--------------|----------------|
| 1月17日(火)～18日(水) | 長岡新産管理センター | 80 | 12月20日～1月10日 | 長岡市新産2-1-4 |
| 1月23日(月)～24日(火) | 新潟テクノスクール | 100 | 12月26日～1月16日 | 新潟市中央区鏡西1-11-2 |
| 1月24日(火)～25日(水) | 上越市市民プラザ | 100 | 12月26日～1月17日 | 上越市土橋1914-3 |

講習時間 1日目：午後1時30分より午後4時30分まで（物理/化学）
2日目：午前9時30分より午後4時30分まで（燃焼消火/性質等、関係法令）

〈参考〉平成28年度最終の危険物取扱者試験日程

| 試験日 | 受付期間 | | 試験の種類 | 試験実施地 |
|--------------|------------------|-------------------|-------|-------------|
| | 電子申請 | 書面申請 | | |
| 平成29年3月4日(土) | 1月8日(日)～1月22日(日) | 1月11日(水)～1月25日(水) | 全種類 | 新潟市、長岡市、上越市 |

(注) 試験のお申し込みは、(一財)消防試験研究センター新潟県支部です。(☎025-285-7774)

平成29年度 当初の乙種第四類受験準備講習会の計画 (案)

平成29年度当初の受験準備講習は、下記のとおり予定しております。

3月下旬に発行する平成29年度の「受験準備講習会受講案内」や当協会のホームページをご覧ください。

日程が変更となる場合もありますので、詳しくは、

| 講習日 | 講習会場 | 定員 | 申込受付期間 | 講習会場所在地 |
|-----------------|--------------|-----|------------|----------------|
| 4月20日(木)～21日(金) | アミューズメント佐渡 | 50 | 4月1日～4月13日 | 佐渡市中原234-1 |
| 4月20日(木)～21日(金) | 新潟テルサ | 60 | 4月1日～4月13日 | 新潟市中央区鐘木185-18 |
| 4月24日(月)～25日(火) | 上越市市民プラザ | 100 | 4月1日～4月17日 | 上越市土橋1914-3 |
| 4月26日(水)★1日講習 | 長岡新産管理センター | 80 | 4月1日～4月19日 | 長岡市新産2-1-4 |
| 4月27日(木)～28日(金) | 新発田市生涯学習センター | 48 | 4月1日～4月20日 | 新発田市中央町5-8-47 |

〈参考〉平成29年度 最初の危険物取扱者試験日程

| 試験日 | 受付期間 | | 試験の種類 | 試験実施地 |
|--------------|-------------------|------------------|-------|----------------------|
| | 電子申請 | 書面申請 | | |
| 平成29年6月3日(土) | 4月16日(日)～4月29日(土) | 4月19日(水)～5月2日(火) | 全種類 | 新潟市、長岡市、上越市、新発田市、佐渡市 |

保安講習のお知らせ

保安講習会の開催は、今年度は下記の講習会のみとなりました。受講義務のある方は、忘れずに受講してください。

「受講案内」や「危険物取扱者保安講習受講申請書」は、最寄りの消防本部・消防署、各地区支会・地区

協会事務局、当協会に用意してあります。また受講案内は当協会のホームページでもご覧いただけます。

詳しくは、当協会、最寄りの消防本部・消防署、各地区支会・地区協会事務局又は県庁消防課にお問い合わせください。

平成28年度最終の危険物取扱者保安講習日程

| 講習日 | 講習会場 | 講習種別 ※ | | | 定員 | 受講申請受付期間 | 講習会場所在地 |
|----------|-----------|---------|-------|--------|------|-------------|----------------|
| | | 一般(その他) | 給油取扱所 | コンピュータ | | | |
| 2月14日(火) | 新潟テクノスクール | 午前 | | | 120 | 1月10日～1月24日 | 新潟市中央区鏡西1-11-2 |
| | | 午後 | | | 120 | | |
| 2月15日(水) | | 午前 | | 午後 | 各120 | | |

※講習時間等 <午前の講習> 受付時間：9時00分～9時30分 講習時間：9時30分～12時30分
<午後の講習> 受付時間：1時00分～1時30分 講習時間：1時30分～4時30分

保安講習、受験準備講習とも定員に余裕がある場合は、受付期間終了後でも受け付けます。協会ホームページの受付状況をご覧ください。